

平成22年度 一般会計補正予算審査特別委員会審査報告 (第3回) 委員長 半沢利貞

- ・歳入歳出それぞれ3,166万3千円を追加して総額を64億391万4千円とする。
- ・繰越明許費：無線システム普及事業（苗場ふれあいの郷テレビ共同施設地デジ改修）他6事業計2億951万3千円を翌年度に繰越す。
- ・債務負担行為：旧総合行政システムデータ出力業務を平成22、23年度に4,600万円限度額を追加し、指定管理者との協定に基づく中央公園の管理運営業務を平成20年度から23年度までに2億3,520万円から2億3,767万8千円を限度に変更する。
- ・地方債補正：不燃ごみ埋立処分施設整備事業他3事業計1億3,410万円を1億1,610万円に補正減する。

歳入の主なもの

町税	固定資産税の現年度課税分	5,000万円（土地、家屋、償却資産）
地方消費税交付金		859万7千円増
使用料及び手数料	歴史民俗資料館使用料	110万円減
国庫補助金	除雪機械整備事業	160万円減
	交通安全施設等整備事業	424万6千円増
	まちづくり交付金	920万円減（三俣）
	県営雪寒事業	324万円減
県負担金	災害弔慰金（3/4）	187万5千円（雪下し落下事故死1名）
県補助金	新型インフルエンザワクチン接種臨時補助金（低所得者741名分）	138万9千円
財産収入	財政調整基金、学校施設整備基金他	379万3千円
繰入金	財政調整基金	635万4千円減
町債	塵芥処理事業債	1,180万円減
	まちづくり交付金事業債	400万円減

歳出の主なもの

総務費	財産管理費 財政調整基金積立増	6,193万3千円増
	三俣地域振興対策費	2,410万円減（道の駅関連）
民生費	国民健康保険事業費 国民健康保険特別会計繰出金	1,000万円増
	後期高齢者医療事業費 新潟県後期高齢者医療広域連合負担金	119万円減
	災害救助費 1災害弔慰金 250万円（雪下し落下事故死1名）	250万円
衛生費	公衆浴場費 公衆浴場指定管理料	400万円（灯油高騰分）
	塵芥処理費 可燃ごみ処理	1,006万7千円増
	可燃ごみ処理施設整備事業負担金	763万円減
	不燃ごみ埋立処分施設整備事業負担金	488万1千円減
土木費	道路維持費 除雪対策費 車道ロータリー車購入清算により	219万3千円減
	道路新設改良費 県営雪寒事業負担金	574万6千円減
	都市計画施設維持費 中央公園指定管理料	123万9千円減
教育費	事務局費 文教施設整備検討費 設計業務	500万円減
	教育用財産管理費 雪対策費	100万円減

主な質疑

- ◎：歴史民俗資料館の使用料110万円が減額補正しているが、例年700万円位の収入から540万円にガクンと落ちたその原因はなにか。
- ▲：例年通りの事業を行っているものの閉塞感から通常より減っている。背景には景気の低迷からではないか。
- ◎：公衆浴場費の関係に指定管理料で灯油の高騰による400万円増額されたが、来場者と収入の現状はどうなっているのか。
- ▲：来場者数が前年対比で97%、灯油代が高騰しているのに、協定の第3条の規定により、400万円を町が負担する。

- ◎：商工振興費の県信用保証協会損失補償金を支払わなければならない状況、その内容は。
- ▲：平成16年度の湯沢町中越地震間接被害対策特別資金の平成7年に貸付けた中に、昨年、倒産により代位弁済の事例が1件発生した。町と信用保証協会との契約に基づき弁済額半分が町負担分の18万7千円だ。ただ中小企業金融公庫の保険から8割が補てんされている。回収は毎年している。
- ◎：教育用財産管理費の雪対策費100万円の減額と雪対策の現状はどうなっているのか。
- ▲：この予算は旧湯沢高校の体育館2棟の機械並びに人員による除雪委託を想定した予算を計上していたが、直営の雪囲で済んだことから、全額減額した。

23.3 平成22年度 特別会計補正予算

議案第14号	平成22年度国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について	賛成全員で可決
議案第15号	平成22年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）について	賛成全員で可決
議案第16号	平成22年度介護保険特別会計補正予算（第3号）について	賛成全員で可決
議案第19号	平成22年度病院事業会計補正予算（第3号）について	賛成全員で可決
議案第17号	平成22年度下水道特別会計補正予算（第3号）について	賛成全員で可決
議案第18号	平成22年度水道事業会計補正予算（第3号）について	賛成全員で可決